

氏名

田 中 勇 夫

学 位 の 種 類 医 学 博 士

学 位 授 与 番 号 乙 第 1288 号

学 位 授 与 の 日 付 昭 和 57 年 6 月 30 日

学 位 授 与 の 要 件 博 士 の 学 位 論 文 提 出 者 (学 位 規 則 第 5 条 第 2 項 該 当)

学 位 論 文 題 目 真 鍋 島 (離 島) に お け る 住 民 の 生 活 及 び 健 康 状 態

第 1 報 : 環 境 と 住 民 の 健 康 状 態 に つ い て

第 2 報 : 真 鍋 島 の 農 民 お よ び 渔 民 の 疲 労 に つ い て : 農 民 及 び 渔 民 の 疲 労 調 査

論 文 審 査 委 員 教 授 青 山 英 康 教 授 長 島 秀 夫 教 授 木 村 郁 郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

真鍋島の住民の環境と疾病状態及び農業、漁業従事者の疲労状態を検討し以下の成績を得た。

第一報では真鍋島を除く笠岡市と比較して、若年層が少なく老年層が多い特徴があり、従属人口指數が高い、また老年層が多いため PMI が高い特徴があった。また第一次産業の就業率は真鍋島を除く笠岡市より高い特徴を有していた。また国民健康保険受診率より調べた疾患にも 1 部特徴が認められた。

第二報では漁民、農民の疲労状態を調べ、自覚症状では、作業前後に「肩がこる」という項目が高く、女性では作業後に「肩がこる」という項目に集中している。農民男性には作業前後に「肩がこる」、「足がだるい」、他に女性では「肩がこる」等の自覚症状が認められ、Donaggio 値は、漁民の男性は有意の増加、女性は増加の傾向が認められた。農民男性では増加の傾向が認められ、女性には有意の増加が認められた。以上の成績より本島の漁民及び農民には疲労対策の必要性のあることを述べている。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、岡山県における代表的な離島である真鍋島の実態を数多くの資料を活用して明らかにし、離島の公衆衛生学的問題点の究明を試みたものである。第一報では、住民の健康水準に関する衛生統計や住環境について検討するとともに、第

二報では、農・漁民の疲労状態を調査・研究し、離島対策を計画する上で重要な知見を得たものとして、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。